

旭川市とクアンニン省との経済開発協力事業 コロナ禍の中断を乗り越え、いよいよ始動！

アンニン省政府が管理する2つの農業協同組合（チュオンソン、ホアフォン）な

ども加わる。

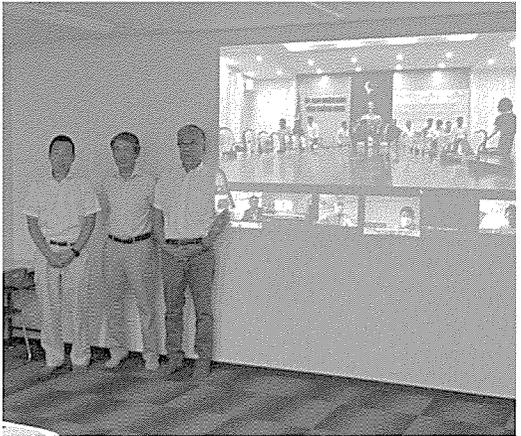
クワンニン省農業の課題解決に向け

ここであらためて、ベトナムにおける農業を取り巻く現状について、整理しておく。国土面積の約8割が農林水産業に利用され、農村人口は総人口の約7割。農産物輸出額も国全体輸出額の7・7%（約186億USD）を占める主要産業の一つになっているが、その一方、多くの課題を抱えている。

例えば、生産性・品質の低さ、コールドチェーン等の流通体制の不整備などで、ベトナム農業が本来持っている潜在力

新型コロナウイルスの感染拡大のため、事業としての始動が先送りされていた「旭川市・クアンニン省（ベトナム）都市間連携による農産加工力向上のための普及・実証事業」（JICA委託事業）に係る同省とJICA（独立行政法人国際協力機構）ベトナム事務所との会議録署名式が8月25日行われ、この事業に参加する旭川の企業3社もテレビ会議を通じて参加した。JICAの地域産業集積海外展開推進枠を活用したこうした取組みは全国初で、参加3社はいよいよの事業本格スタートに決意を新たにしている。

旭川の3社、旭エフ・イー（佐々木通彦社長）、旭川機械工業（関山真教社長）、農業生産法人谷口農場（谷口威裕社長）は、ベトナムビジネスで多くの実績を持っている大手総合建設コンサルタント、（株）長大（東京都中央区）、JICAベトナム事務所などのサポートを得、クアンニン



省と行き来しながら計10回ほど協議を重ね、今回行う事業内容を固めて来た。こうしてまとめられたのが、「都市間連携による農産加工力向上のための日本の技術を民間企業と活用したSDGsパイロット事業」で、JICAの官民連携事業の環として、「具体的な開発課題に対応した日本企業の技術を実証するための事業開発・普及の枠組みの下

旭川市などと交わした「覚書」に基づく

今回の事業は、2017年に旭川市及び旭川商工会議所とクワンニン省との間で交わされた「地域創生を通じた地域開発実現に向けた覚書」に基

が十分に引き出されていないというのだ。

そのため、ベトナム農業農村開発省は、ベトナム国内29カ所に「ハイテク農業パーク」を指定し、最先端技術を活用した農業の高付加価値化を進めている。

クアンニン省は、国が

指定するモデル地区になっていないが、省内で収穫される農作物の収穫が一時期に集中するため、農作物が安く買い叩かれ、ホストハーベスターの割合が全生産量の10〜30%にもなるなどの深刻な問題がある。

の食品加工工業支援に取り組んできているが、省内の食品加工工業は、新しい技術の導入や普及、商品開発能力の向上に至っていない状況にあり、特に①長期保存型加工食品の導入②商品開発能力の向上を喫緊の課題として

旭川発の加工機械を持ち込む

そうしたクアンニン省農業の高付加価値化に役買おうというのが、旭川の3社で、このうちエフ・イーは異型根菜類洗浄加工機、旭川機械工業はトウモロコシ皮むき機という、各社自慢の開発機を送り込み、それぞれの加工機の基礎知識及び

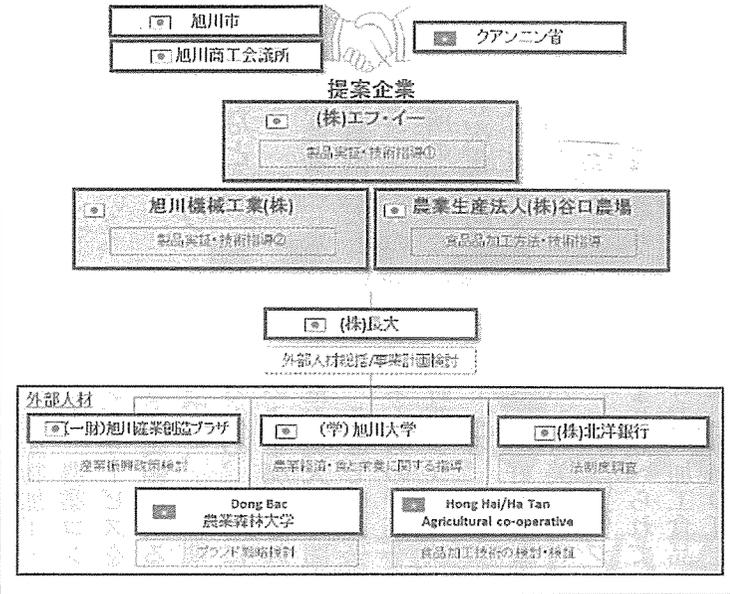
加工機を使って、現地の農協とともに農産物の長期保存型加工食品の試作を進めるとともに、それと並行して谷口農場などと農産物加工に係る「生産管理・品質管理・衛生管理」の技術指導も行われるという。

「覚書」に基づき、旭川産業創造プラザ、旭川大学、旭川市、さらに旭川の食品関連団体などにより取り組まれた「産地ブランド化」を通じた地域

その際、旭川市などがクワンニン省側と交わした「覚書」に基づき、旭川産業創造プラザ、旭川大学、旭川市、さらに旭川の食品関連団体などにより取り組まれた「産地ブランド化」を通じた地域

全国で初めての取り組み

都市間交流および企業間交流の実施、製品・技術の探求を通じた、先進的な技術移転推進の取組みを支援することに合意し、覚書を締結



自宅で暮らしたい。その思いに寄り添ってまいります。

旭川老人保健施設
keishinkai ふれあい

旭川市錦町18丁目 TEL.0166-51-1818

www.keishinkai.jp.net





不動産のことならハスコムにお任せください。

HASCOM

株式会社ハスコム

株式会社 ハスコム

〒070-0054 旭川市4条西3丁目1番11号

【賃貸営業部】Tel.0166-25-1226 Fax.0166-25-1603

【不動産部】Tel.0166-25-1228 Fax.0166-25-1543

【アメニティー営業部】Tel.0166-25-1228 Fax.0166-25-1543

<http://www.hascom-gr.jp>



家財道具の収納、お困りではありませんか？

【屋内型】**レンタル収納スペース**
旭川市1条3丁目

月額4,500円から始められるスッキリ生活
担当部署:アメニティー営業部 TEL0800-800-3567

コインランドリー全11店舗展開中!!

コインランドリー 6時▶24時 H₂ Wash! 東光店 旭川市東光11条6丁目 2020年7月1日 NEW OPEN!				
コインランドリー 7時▶23時 ひまわり 豊岡店 旭川市豊岡5条4丁目	コインランドリー 6時▶24時 ひまわり 旭町店 旭川市旭町1条2丁目	コインランドリー 5時▶24時 ひまわり 神楽岡店 旭川市神楽岡6条6丁目	コインランドリー 5時▶24時 ひまわり 南6条店 旭川市南6条18丁目	コインランドリー 5時▶24時 はなご はなご店 旭川市豊岡5条7丁目
コインランドリー 5時▶24時 ひまわり 滝川店 滝川市栄町2丁目	コインランドリー 6時▶24時 ひまわり 富良野店 富良野市本町2-1	コインランドリー 5時▶24時 ひまわり 士別店 士別市大通西14丁目	コインランドリー 5時▶24時 ひまわり 砂川店 砂川市西1条南2丁目	コインランドリー 5時▶24時 H₂ Wash! 春光店 旭川市春光1条8丁目

映像に映し出された署名式の様子



産業振興政策におけるノウハウなどが、クワンニン省側と共有されるという。

農産物加工のノウハウも移転なども

一方の谷口農場は、米や野菜を扱う農業法人として、トマトジュースの生産や直売所の運営など、農業の6次化に向けて先進的に取り組んできた事業所で、ベトナムに開拓していくと、すでにこれまでトンナン省やラムドン省で現地農業事業会社とクリーン農業の技

術指導や農産物加工の製造指導など、農業コンサルティングサービスを提供してきた実績がある。

「現地では、収穫期が集中するため、市場に出されないまま廃棄される野菜の量が莫大だと聞いている。そこで今、先行してハネものの野菜を利用した野菜ジャムの試作を続けている。ベトナムは「甘さ」を好む食文化圏で、パンも美味しいのに、どうしたものか、ジャムはあまり食べられていないようだ。加工食品の周辺国への輸出の可能性

も大きい」と谷口社長。

新型コロナウイルスの世界的な汚染拡大によって、国家間の行き来も遮断され、今回の事業も一体、どうなるのか、旭川の3社のヤキモキが続いていたが、今回の署名式でやっと、スタートの号砲が鳴らされた形になり、3社の社長は異口同音にこう期待を渗ませる。

「われわれの持っている技術力、ノウハウがクワンニン省農業の発展に少しでも尽くすことができればと考えている」「インドシナ半島のうちの4カ国をつなぐ東西経済回廊を活用することで、周辺国とのビジネスの期待も膨らむ」。

事業期間は、署名を行った8月25日から2年半で、エフ・イー、旭川工業機械の2社は早速、ベトナム仕様の加工機製

造に入った。

■ベトナム・クワンニン省 ベトナムの北東部に位置し、省都はハロン市（世界自然遺産に認定されたハロン湾が有名）。人口118・5万人で、中国と共同開発する越中経済協力地域を有し、アセアン諸国と中国、中国の広西チワン族自治区とシンガポールの貿易中継基地としての役割が期待されている。

ベトナム63省・中央直轄市の中でトップ10に入る経済規模を誇り、中核をなす産業は、多様で豊富な天然資源（カオリン、珪砂、粘土など）を背景にした鉱業およびハロン湾に代表される観光。ほかの各省同様、省を挙げて一層の工業化を進めているところで、工業・サービス業の受入れを通じた「グリーン発展モデル」への転換を進めている。

エフ・イー第3工場に設けられた旭川会場では3社の各社長が映像に映し出される会議録署名式の様子を見守った

コクと言味にこだわれば やっぱり

みそラーメン 乃 永山店

■営業時間/AM11:30~PM8:00 ■定休日/木曜日

旭川市永山3条20丁目 国道39号線沿 ☎(0166)47-1040